大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可
昭和九年十二月二十日　新京日日新聞　(木曜日)　第四千二百七十八號　(一)

新京日日新聞
夕刊
十二月十九日

發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

不脅威不侵略

華府條約廢棄案 樞府本會議を通過

昨年國際聯盟脫退以來の 歷史的な御前會議

(東京國通)帝國々防の安固を期すると共に不脅威不侵略の原則を確立し且つ軍縮の精神を發揮して新に最も公正妥當なる條約を締結せんとする根本方針に基きワシントン條約廢棄通告案決定の日は遂に來た!

樞密院定例本會議は十九日午前十時よりシャンデリヤ輝やく宮中東溜の間に於て開かれ樞府及政府側諸員は九時半前後して參內し

玉座の中央に向つて左側玉座近くに一木樞府議長、村上書記官長以下各書記官並に說明委員たる金森法制局長官、重光外務次官、東郷歐洲局長、栗山條約局長、長谷川海軍次官、吉田海軍省軍務局長、橋本陸軍次官永田陸軍省軍務局長其他說明係官居並び次に岡田首相以下各閣僚それぞれ指定の椅子に着き反對側には平沼副議長以下各顧問官が宮中席次順序によつて馬蹄形に威儀を正してゐる

かくて天皇陛下には陸軍御通常禮裝に大勳位副章御佩用一木議長、村上書記官長の御先導にて諸員の最敬禮裡に

出御 玉座に着御遊ばされるや、一木議長は異常な緊張裡に開會を宣し茲に外交史上特筆すべき議案

一、大正十一年二月六日ワシントンに於て署名されたる海軍々備制限に關する條約廢棄通告方に關する件(同條約第二十三條の規定に依り之を廢棄通告するもの)

が上程され、一木議長は審査委員長たる平沼副議長の審査報告を促すや長身瘦軀をフロックに包んだ平沼男は起立して去る十一日開會せる審査委員會の經過及び結果、即ち政府當局は委員の質問に對し條約廢棄の結果列國の建艦競爭を見るに至つたとしても廢棄後二年間は同條約規定の範圍內で建艦する事を得又その後に於ても國情に適したる艦種を建造する方針なるを以て帝國の國防上何等不安を招來する虞れなく、一方國際的には或は現在より孤立に傾くであらうが、帝國政府は徒らに條約を破壞するものに非ず、現行條約よりも更に理想的條約を締結せんとするのであるから、やがて外交工作によつて帝國の終始變らざる平和的眞意を披瀝して列國の誤解一掃に努力する、又太平洋防備協定に關し勿論政府としては之が存續を希望するも、若し廢棄を見る場合に於ても之に對する充分なる用意と覺悟があるとの言明あり、其他の諸點に就いても政府の所信を質したる後審査委員會の態度について愼重審議の結果この比率主義の拘束より脫却して國防の安全感と不脅威不侵略の鐵則即ち攻むるに難く守るに足る根本方針に基づき軍縮會議に臨み、又條約を廢棄するも國防上毫も不安なく之れに對應する確固不動の決意を有するとの政府の言明に信頼し全會一致を以て右條約廢棄通告あつて然るべき旨を決議した次第であると結び約二十分間に亘り政府激勵鞭撻する審査報告をなして席に復す、次で顧問官と政府側との間に質問應答あり、斯くて一木議長は採決を起立に問ふた結果全會一致を以て審査委員會承認通り同條約の廢棄通告あつて然るべき旨を可決し

茲に 昨年三月廿七日國際聯盟脫退を決定した以來の歷史的御前會議は散會を告げ終始御熱心に議事を聽召された陛下には諸員畏敬謹のうちに御機嫌麗しく入御遊ばされた、尚一木議長は散會後直ちに文書を以て樞密院の決定意見を上奏の手續きをとつた

公文書、通告期日 廿一日閣議で決定

米國への手交廿七日の見込み

【東京國通】華府條約廢棄通告御諮詢案は十九日樞府本會議で滿場一致可決され、直ちに御下渡しになる筈だが政府の訓令に基き廿一日の閣議で

一、米國政府に對する廢棄通告の公文書

一、廢棄通告實施の期日

を正式に決定し、岡田首相及廣田外相同道で參內御裁可を經た後外務省より右通告實施方を齋藤大使へ訓電する事となつた、而して右訓令で齋藤大使は公文書を調整し、米國務長官に提出する段取りだが廿二日は週末でありクリスマス休暇が續く關係上齋藤大使よりハル長官に通告文を手交するは早くても廿七日にならうと見られる

日本の廢棄に對する 佛國政府の態度

【パリ十八日發國通】フランス政府は日本の華府條約廢棄の提議を拒絕したが、日本の廢棄通告切迫につれ政府首腦部は此の際右條約に對する態度を闡明せよとの意見擡頭しラバル外相、ピエトリ海相は二十一日下院外交海軍委員會の聯合會議にて政府の見解を表明すると見られるが、其の內容は華府條約は佛國の利益に大影響を與へたものである日本の廢棄通告後同條約を英米佛伊間にのみ存續させんとするなら佛國は承服し得ないと言ふものとされるが右はフランスが一九三五年の本會議で自由な立場を得んとするためである

菱刈前軍司令官 名殘惜しく 二十六日離京

廿五日に滿洲國皇帝に挨拶

前關東軍司令官菱刈大將は二十六日午前十時發アジアで離京することゝなつたが二十五日午前九時三十分、關東軍司令部に最後の登廳を爲し貴賓室に於て在滿各新聞通信社代表と會見離任の挨拶を述べ終つて職員一同に送られ司令部を出門直ちに宮內府に赴き滿洲國皇帝に謁見、お別れの挨拶をする筈である

休會コムミユニケに關する 回訓發送

【東京國通】十九日午後四時英國首相官邸で行はるべき三國代表會談で採擇されるコムミユニケに關する松平大使よりの請訓は十八日午後外務省に到着したので、外務海軍兩當局間で協議の結果左の態度を決定、十八日夕刻折返しその旨訓電した

一、コムミユニケを發表して豫備會談を休止することに對しては明年會談を續行するを建前として賛成する

一、休會期日を出來るだけ短期間として明年早々豫備會議を再開すべきことを要求し此旨を明かにする爲右休會コムミユニケ中に明年の再開期日を標示せんことを求める、豫示困難な場合には再開すべき事をコムミユニケ中に明示し置く事を要求する

一、休會期間中日英間で外交機關を通じて再開後の豫備會談に備へる折衝を行ふに異議なし

滿洲國の「實情視察」に 陸相五月頃來滿

【東京國通】林陸相は嘗てから陸相として滿洲事件以來一變した滿洲國の實情視察に赴く希望を有つてゐたが、たまたま今回在滿機構改革と共に對滿事務局總裁を兼任することとなつたので實際職務上から軍隊以外滿鐵其他各方面の實情を視察し識識を深めることが必要となつて來たので通常議會終了後の大體五月頃滿洲國視察に赴くことを豫定してゐる、右に就いて林陸相は十八日左の如く語つた

今度對滿事務局總裁を兼任するやうになると滿洲國の實情を見て置かないと凡てに不便であるから渡滿してこれまでの知らぬ方面を詳しく見て來たいと思つてゐるが、其時期は議會の關係があるしするから南軍司令官が赴任され大體新機構の整備を見た頃がよいと思つてゐる

三國首腦會議は 十九日午后三時より

【ロンドン十八日發國通】日英米三國代表部首腦の最終會議は十九日午後三時四十五分よりダウニング街十番地の英首相官邸又は下院に於て開會し其席上二十日を以て豫備會議を休會とし共同宣言案を議決する豫定である

山本代表主催 午餐會

【ロンドン十八日發國通】山本代表招待の午餐會は十八日午後一時からグロヴナーハウスに於て開かれた、英國側からはチャットフイールド軍令部長、クレーギー參事官、デイスケン大佐、米國側からはスタンドレー提督、シャーマン中佐、ダンカン少佐の諸氏が出席したが、主に海軍關係の人々ばかりのことゝてお互ひに海育ちの率直さと會議の對立をも忘れ和氣靄々裡に食事を終つて歡談したが、右を終つて後山本、松平兩代表は正裝して午後三時バッキンガム宮殿に參內、英國皇帝ジョージ五世陛下に謁見を賜り有難き御言葉と握手を賜り五分間にして退出した

國策審議會の設置 政府具体化を急ぐ

政友會の反對は押し切る

【東京國通】國策審議會設置に關し政府は組閣當初擧國一致の形態を整へ一方に於て內閣補強工作並に政黨工作の建前より、床次、町田、後藤の三相は岡田首相に對し設置の必要を力說し岡田首相も三相に賛意を表し次で岡田首相の意を受けた床次、町田兩相は廿一日定例閣議前後に於て高橋藏相と會見して本問題の經過を報告すると共に其の趣旨構成に關し更めて重大協議を爲す筈だが此の結果政府首腦部で具體化を計る段取りである、床次、町田兩相の意向は首相を會長に貴衆兩院の有力者をはじめ各方面に渡りをつけ休會明け前に一切の準備を完了し適當の時期に一擧に樹立陣容を整へんとするもので政友會が極力反對の態度を執つても右の建前で具體化を計る模樣である

通常議會の 「年內に於ける日程」

【東京國通】第六十七通常議會は解散の危機を孕んで愈々來る二十四日を以て

召集 され、衆議院は劈頭秋田議長の突如辭任に伴ふ後任選擧を行ふことになつたが、年內に於ける議事日程は左の如くである

二十四日召集、貴族院は午前十時開會成立を告げ同日衆議院は勞頭議長の選擧を行ひ新議長が議長席につき就任の挨拶を述べた後成立を告げ同日開院式仰出される豫定である、二十五日は大正天皇祭につき休會、二十六日午前十一時貴族院に於て天皇陛下親臨の下に開院式を行はせられ衆議院は式後勅語奉答文を議決し二十七日貴族院は午前十時開會勅語奉答文を議決した後全員委員長及び常任委員の選擧を行ひ更に各常任委員長の互選を爲し散會、當日兩院議長は宮中の御都合を伺ひ參內 天皇陛下に拜謁仰付けられ勅語奉答文を捧呈する

斯くて例年の如く二十八日より一月二日まで休會する筈で一月二十一日は月曜日に當るので

首相 の施政方針演說及び外相の外交演說、藏相の財政演說は二十二日行はれる筈である

外交問題講演會 開催

【東京國通】外務省情報部では豫て國內外交智識の啓發を其の仕事の一部となし全國各地に外交講演會を開いて來たが今回更に其の規模を擴大し最近歸朝した出淵、永井、松島、林の四大使、笠間、川島の兩公使をも動員し全國各地に外交問題の講演會を開き國民との接觸に一層努力を拂ふことゝなつた

水野梅曉氏離京

滿洲國立博物館出版の刻絲完成報告のため來京中であつた日滿文化協會員水野梅曉氏は十九日午前十時發あじあで奉

人事往來

▲澤潤次郎氏(會社員)十八日來京國都ホテル投宿
▲田附信次郎氏(染色業)同上奉天より
▲川島利一郎氏(綿布商)同上
▲張御塘氏(染工業)同上
▲野田信之氏(鐵工業)同上
▲市川宗助氏(奉天商工銀行專務)十九日來京國都ホテル投宿
▲佐々久男氏(醫師)十八日午後五時三十分着內地から大和ホテル投宿
▲兪紹武氏(ハルビン稅關長)同上奉天から大和ホテル投宿十九日午前九時二十分發ハルビンへ
▲鮑觀澄氏(前駐日滿洲國公使)同上
▲大木幹一氏(辯護士)十九日午前七時三十分着奉天から大和ホテル投宿
▲水野梅曉氏(文化協會員)十九日午前十時發大連へ
▲横田清一氏(貿易商)十八日午後六時着奉天から名古屋ホテル投宿
▲蓮沼氏(安東省警務廳長)十八日午後九時着安東から大和ホテル投宿
▲板垣征四郎氏(關東軍參謀副長)十八日午後五時三十分着東京から
▲清野長太郎氏(承德領事)十九日午前十時發承德へ
▲森田成之氏(交通部路政司長)十九日午前九時二十分發ハルビンへ
▲神崎登氏(新京地方事務所調所長)十九日午前十時發奉天へ
▲井上庄三郎氏(瀋陽警察廳)同上

■女八人感激時代■ 最後の切札八枚

(合作) 柳 咲子……峯 吟子 / 大林梅子……若水絹子 / 澤 蘭子……夏川靜江 / 木下双葉……飯田蝶子 (挿畫 大附魚文畫)

(鉄上映上演權獲)

11限りある人生11 15……心の疑ひ (二) 夏川靜江作

「あの、ちよつと行つてくるわ。直ぐ、歸つてきますから」

と、云つて、ドアの外へとび出して行つた。盛田は、早苗の出て行つたはうを苦々しく見て舌打したが、このごろ早苗の丹精で、面目を一新して、まるで見違へるばかり綺麗になつた室內を、あらためて見廻したのだつた。

そして、一時間ほどしてから盛田の部屋のドアがあいたとき盛田は、椅子のうへにみじろぎもしないで、眠つてゐた。

「ムッシユウ。眠つたりなんかして、風邪着くわよ。さあ、眼をあさましなさい」

早苗に、肩を搖られて、盛田は、はつと眼をさました。いつの間にか、電燈が點いてゐるのだつた。

「貴女は、じつに困る。何故、歸らなかつたのです」

「あら、あたし。カーテンを買ひに行つてきたんだわ。何處へ行つても、氣に入つたのないから銀座まで行つちやつて、やつとこんなの買つてきたのよ」

かういつて、早苗は、テーブルの上に置いた包み紙をほどいてゐた。そして、空色の一寸派手な織出し模樣になつたカーテンをひろげてみせて、

「これどう? あんまり氣に入らなかつたけど、でも、良いのなんですもの」

と、云つた。盛田は、苦い顏をして一寸一瞥をくれただけだつた。早苗はひとりでせかせかしながら立つて行くと、窓のカーテンを外してかけ替へたり、其の邊に、散らかつてゐるものを片づけたりしてゐた。

盛田は、どうにも自分では始末がつけられないといつた顏をして、默つて、それを眺めてゐるより仕方がなかつた。

だまつて食事に出て行つた盛田は、アパートの食堂で、簡單な夕飯をすましてしまふと帽子もかぶらずに表へ出て行つた。再び、顏をあはせることを避けた。部屋にかへつて、早苗と、一時間あまりも散步して歸つたら、そのうちには早苗も、歸るだらうと、思つたのだつた。

どこといふあてもなく步いてゐるうちに、盛田の足は、いつか澁谷にちかい所まできてゐた。そして、氣がついて立止まつたとき、澁の家の近くであることを知つた。このごろ、自分の都合で、澁に、英語を教へてやることもできなかつたが、今度の日曜からでも、また教へてやり度いと思つたので、そのことを云ひながら、一寸寄つてみやうかと思つて、盛田は、はつとした。

何故か、盛田は、逃げ出すやうに、踵をひるがへしたのだつた。

そして、澁の方へ道を取りながら、考へるともなく、何か考へこんでゐた。

このごろ、盛田のこゝろの奧底には、何かはつきりしないながら、一つの疑ひが起つてゐるのだつた。その疑ひとは、心の奧に落付してゐて一つの感情だつた。それを何と名づけていゝか。かれ自身にも、それは分らないのだ。

科學者として、メスを執るやうな心持で、自分の、瞳の中核に觸れやうとするのだが、それはまた、腦髓の襞に潜む、孤立の、生物か何かのやうに、容易に、正體をつかませないのだつた。

南大將を四平街から獨り占め　一本釘を刺す岡村少將
軍司令官と同道三度目の凱旋も　今度こそは眞に朗か

南大將（写真）

來任二ヶ年に余る關東軍參謀副長岡村寧次少將は今回參謀本部附に榮轉新任南關東軍司令官の着任を待つて菱刈前司令官と同道赴任することゝなつた

×

岡村少將の司令官と同道歸朝するのは今回が三回目、第一回は事態の上海派遣軍司令官白川將軍と同道、第二回は故武藤元帥の遺骸、ともに悲痛な凱旋ではあつた、然るに今回の將軍の歸朝こそは功なり名遂げて歸る菱刈大將と同列であり、後任司令官に南大將を、參謀長には崇敬する西尾中將を殘し、更に後任副長には市ヶ谷台以來三十年の盟友板垣征四郎少將を配した新關東軍司令部の陣容を後にして參謀本部におさまる榮譽ある身、岡村少將の朗かな面持ちまた宜なるかなである

岡村少將（写真）

×

併し將軍はもう一本だけ南新軍司令官に釘をさしておこうと各般に亘る岡村案のとりまとめに目下忙殺されてゐる

×

二十五日新京着の南大將に滿洲事變と中堅將校の抱藏する日本的イデオロギーを直接口の端から「前關東軍參謀副長陸軍少將岡村寧次」の名において、今一つは個人「岡村」の名においての兩方からより深く認識づけておくことを必要とし、南大將を四平街に邀し絕体他の同席を許さず南大將をひとり占めに新京まで懇談を續けやうといふのである それは個人岡村を生かすためのものでない脈々と流れる東亞永遠平和確立に心寄す將軍の赤誠にこそ外ならない

南軍司令官　けふ東京發來任

（東京國通）南駐滿全權大使は十九日午前九時伊東京驛發勢、桃山を參拜し大阪に立寄り東久邇宮殿下に御挨拶申上げ朝鮮經由二十五日新京着の豫定である

各小學通學區域の編成變へ決定
中央通（大同大街）を境に　二校づゝに分れる

久しい懸案の兒童通學區域は白菊校についで來年一月から八島校が開校されることになつたので、このほど漸く正式決定を見るに至つたがその內容は左の如くで、中央通、大同大街を境として以東は室町八島兩校、以西は西廣場、白菊兩校とはつきり區別されることになつたわけだ

室町校區域　中央通以東、曙町本通（滿鐵病院本院裏）を含む同通から日本橋を越えて入船町五丁目北東、鐵道北は北二條以東

八島校區域　中央通大同大街以東、曙町本通以東南、城內一帶、入船町五丁目南西、鐵道北は北二條以西

西廣場校區域　中央通以西、柏木町を境に舊滿鐵社宅、陸軍官舍など、飛行場橫通を含む

白菊校區域　大同大街以西、柏木町を境に新發屯方面一帶

天皇陛下　ブラジル政情を御聽取

【東京國通】天皇陛下には十八日午後二時より御學問所に御茶の會を催され御縁上前ブラジル林大使を召され同國の政情、移民制限等につき詳細に御聽取遊ばされた

公會堂の扁額　臼井象次氏が謹書

闘香孺天の書を皇帝に獻上の榮を得た三笠町一丁目の臼井象次氏は漸く完成した記念公會堂の改築委員會から依頼されて今度公會堂にかゝげる大扁額を書き上げ同委員會に納めた、額は六尺に三尺程の大きなもので橫書きに「記念公會堂」と筆勢雄々しく書かれた左脇に「昭和九年甲戌冬石堂謹書」と認められてゐる

新京守備隊歸隊

新京市民にお馴染の新京守備隊〇〇〇名は昨年九月以來匪賊討伐に出動してゐたが、赫々たる武勳をたて一年ぶりに懷しい新京へ十九日午前十一時十分かへつた驛頭には戰友在鄕軍人、國防婦人會、新京高等女學校その他一般市民多數が出迎へ、かへる者、迎へる者の間に歡呼の聲があがつた、隊長風間大尉はホームに居ならぶ出迎へ人に元氣のよい聲でなつかし氣に『やあまた參りました、お世話になります』と挨拶直ちに守備隊兵舍へは入つた

腰本監督辭任

【東京國通】慶大野球部腰本監督は十八日健康上と一身上の都合に依り辭表を提出した後任監督は近日決定の模樣である

骨までしやぶる　惡樓主を檢擧
南嶺料亭「美好」の主人

純情な乙女を强制的に已が慾望の犧牲にし、あたら女の一生を台無しにしその上金錢を巻きあげんとした稀代の惡漢がある—南嶺料亭美好こと緞岡三吉（三五）で同人は本年六月二十三日原籍廣島生れ横濱市中區小港佐野木テルさん方に女中奉公中の靑崎淸子（一九）を前借四百圓で酌婦として連れ、同女の妹政子（一七）を甘言で同行し、姉には開業前關係をつけ其の後フキエと名乗らせ酌婦として働かせしかもその間關係を續けてゐたが緞岡はそれにあきたらず妹政子をも毒牙に掛けその上無許可で酌婦稼業を働かせ政子の入院料百二十六圓六十錢を前借として負はしてゐるを領事館署員が摘發目下同署木內警部が取調べ中である

地方事務所のボーナス支給
けふ午後月俸者へ

新京地方事務所では日給者のボーナスはさきに支給したが月俸者に對する分は十八日着いたので同日直ちに最後の査定を行ひ、十九日午後これを一般に交付した、總額約一萬七千圓、人員五十八名で最低本俸の二ケ月半から最高三ケ月半で昨年に較べて惡くはない、右は地方事務所勤務者のみで同所關係の各學校敎職員その他は二、三日おくれる模様である

興隆鎭に匪襲　部落民を拉致

【ハルビン國通】陳壽縣公署山崎指導官より當地に達した報告に依ると去る十四日同縣南方十六粁の興隆鎭方部落に匪首双山の率ゆる八十名の匪賊が襲來し、同部落民二十八名を拉致したとの報告に接し同縣公署では十五日折笠指導官以下警察隊一ヶ中隊を出動せしめ追擊した、結果同日夕刻討伐隊は祖永に於て双山匪と遭遇、交戰約二時間にして完全に之を擊破し匪首双山を射殺、四名を捕虜にしたと尙此戰鬪に於て警察隊は負傷者二名を出した

第二期電話　廿五日頃完了

新京中央電話局の第二期架設電話は十八日までに五百九十八件を架設し後約二百件で豫定の二十日よりは工事の遲延をみたが二十四、五日までには全部を架設するはずである なほ同じ電々會社の電話でありながら全く舊政權時代の遺物として變態的な取扱ひをうけてゐる新京城内の電話は明年本社も新京に移轉し交換設備も一躍一萬台となるので明春ころこれを一般の加入電話同樣に通話を擴大するものゝ

酷寒の街頭に立ち　東北への義金募集
道行く人の心をひく二青年

身を刺すやうな暮の街頭に白の襷を肩からかけてメガホンを口に聲をかぎりに街ゆく人々に呼ひかけて東北

冷害

地義捐金を募つてゐるかくれた靑年四、五名が新京銀座に現れた—國都ホテル事務員山本宗和、元游動警察隊員一水公道の兩君は東北地方における

凶作

饑饉の意外に大きいのを聽かされて一刻も早くこの哀れな農民たちを救はねばならぬと決心し十六日新京警察署に街頭で義捐金募集願ひを出し同夜から即刻吉野町二丁目金泰洋行裏の交叉點で耳も千切れる程の寒風に身をさらし力の限り

聲の

かぎり「東北地方の農民に溫いご飯を食はして下さい」「生きるためにいたいけな自分の娘まで賣りとばしてゐる親たちを救つて下さい」と同情を

義捐

道行く人に訴へ通りあはせた官吏會社員等はポケットから幾らかを投げ込み、買物かへりの婦人は帯の間から幾らかの白銅貨を、お風呂かへりの子供たちは一錢玉をといつた調子に金函へ惠みの金が投ぜられてゐる、彼等はわが事の樣に喜んで一々お禮をいふ、これをみて感激した二、三の靑年も進んで手傳つていま四五名のものが一生懸命血の出るやうな叫ひをあげ市民に呼ひかけてゐる、集つた金額は十六日二十六圓五十一錢、十七日三十七圓三十七錢寬城子警官講習生一同から五十一圓七十錢、からして

毎晩

六時から十時までを街頭にたち二十五日まで募集を續けるといつてゐる

旅客機　龍井に不時着

【間島國通】滿洲航空旅客機第百二十六號は十八日午後一時三十分頃龍井飛行場附近に不時着、機體を大破したが操縦者、搭乘者共無事である

仙人掌

如く本社では目下秘密裡に計畫をすゝめてゐる

軍隊の迎送に傷病兵の慰問に戰病死者の葬祭に寒暑風雨、早曉深更の厭ひなく、滿洲事變勃發以來三年數ケ月の間、一度も缺かしたことの無い奇篤な女性、新京の銃後の花と謳はれる曙藝妓京丸▲それが決して賣名宣傳のためでなくまつたく皇軍に對する感謝のまごゝろの發露にほかないので新京に駐まり或は新京を往き來した皇軍の將兵で曙の京丸の名を記憶に殘さぬものはあるまい▲のみならず、嘗て某婦人雜誌に彼女が新京衛戍病院を訪れ、傷つき、病める將兵を慈母の如き愛をもつて慰めいたはつてゐる寫眞が載つて以來曙の京丸の名は全國的のものとなつてゐる▲十八日夜新聞關係者の新舊參謀副長迎送會の餘興の福引に京丸に當つたのは題は忘れたが一流の日章旗、福引係がサッとひらいて渡すのを受けて京丸が嬉しさうに押し戴いた情景▲京丸にふさはしいかづけものに主客の歡呼拍手はしばしやまなかつた（これこの話題の主京丸）

けふの銀相場

金票對國幣	一〇八円七〇錢
金票對鈔票	一二六円一〇錢
鈔票對國幣	九三円二〇錢
現大洋對鈔票	一〇八円九〇錢

本日最低氣溫　零下十五度一分

歳末狂躁曲
（5）クリスマス券　買つて頂戴に　ほろ醉も醒める
濡手に粟カフェーの巻

凍てついた師走の街頭で「飢と寒さに泣く東北無村の同胞に御同情下さい」とどん底に喘ぐ同胞に寄せた同情の悲痛な叫ひが流れてゐるだが立ちどまつて溫い同胞愛を示すには余りにも新京の多は寒いのだらうか、耳さへかそうとする人達の余りに少いことよ

▽……△

「お正月なんか來なければいいんだらう」と東北農村の兒童が近づくお正月を指折り數へて怨んでゐるそうだ、お正月が來れば學校は休みになる、學校が休みになれば毎日學校から與へられる給食が休みになつてまた空つぽなお腹を抱へて泣かなければならないからだ、「大晦日の晩に眠るやつ馬鹿だ」小學生のころ母親に叱られ乍ら大晦日の更けた街を友達同志で肩を組んで唄ひ歩いたことが思ひ出される、何故東北の子供達だけがお正月の來るのを泣かなければならないんだらう

▽……△

夜中の二時、三時ごろ、絃歌のさんざめきも靜まつた四暗花街の一隅から新發屯方面に向けて何台かの自動車が疾驅する眠靜まつた街を驀進するこの自動車の人々は一休誰だらうふと新京は全く眠りついてしまつて、雪一つしない丁度その頃うすぎたない路次で行倒れの屍がピクピクと動いたかと思ふと、それが悲しい昇天だつた、そしてこの行路病者も明日の朝は裸にされてしまふのだらう

▽……△

クリスマスが近づいて何處のカフェーでも濡手に粟をあせつてゐる、その結果がクリスマス祭の責任枚數を持たされた女給群の奮闘だ、始めて行つたカフェーで、始めて會つた女給に、腰掛けたトタンに「クリスマスの切符買つて頂戴」と來る、瞬間にほろ醉から醒めてしまふお蔭でカフェーから遠のく人が出る、街で一つ五錢のスペアーが十錢で十錢の朝日が十五錢、スペアー二つ十五錢のカフェーがあるかと思へば七錢のところもある、十二時まで五錢のスペアーが十二時を一分過ぎると十錢になつたりする、少し上等な煙草はどうだ、淺間しく嚮く氣になれない、どうして日本人であり乍らそんな情けない氣持になるんだらうこんな風では日滿合作は愚か日滿關係の將來が案ぜられてならないもつともつと滿洲國に深く根を下す氣になれないのか

▽……△

一九三四年も押しつまつて、遂に三十五、六年の非常時局が到來した、日本人だつたら東北の農村の慘狀を知らないとはいへまい秋田縣鳥海山では山や野原の植物を取りつくしてしまつたので鳥も餓死してしまつたのか空飛ぶ鳥の姿すら見られないといふ福島縣の山間地、岩手縣の東北部には食べられる土があるといふ

▽……△

國定教科書に「どんぐりは食べられません」と敎へてあるのにどんぐりを喰べて生きてゐる子供は學校敎育から何を感じるだらうか 在滿の同胞よ內に、外に非常時は深められつゝあるのだ（完）

ラジオ版

二十日（木曜）新京（午前之部）

六、五〇 ラヂオ體操（東京より）
七、一〇 ラヂオ體操（滿語）
八、三〇 經濟市況（東京より）
八、四五 天氣實況（日滿語）（奉天より）
九、三〇 演藝（レコード）（滿語）
一〇、〇〇 料理獻立（日語）（奉天より）
一〇、四〇 經濟市況（東京より）
一〇、五九 時報（東京より）
一一、〇一 經濟市況（東京より）
一一、三〇 ニュース（滿語）（大連より）
一一、四〇 ニュース（東京より）
〇、〇〇 經濟市況（大連より）
（午後の部）（經濟市況）（日語）
一、一五 ニュース（日語）
一、〇〇 演藝（滿語）過韓信 西群仙 銀子
二、〇〇 經濟市況（大連より）
二、二〇 成人講座（滿語）交通部總務司 召先周
二、四〇 日用品値段（日滿語）
二、五〇 經濟市況 ニュース（東京より）
三、二〇 ニュース（日語）
三、三〇 經濟市況（大連より）
三、五〇 經濟市況（日語）
四、〇〇 ニュース（鮮語）
四、一〇 ニュース（滿語）
四、二〇 滿語講座 講師 高宮盛道
四、四〇 日語講座
五、〇〇（奉天より）同 近藤喜助
子供の時間（京都より）お話多至に因む曆の話 京大教授理學博士 上田穰
五、二〇 コドモの新聞（東京より）關屋五十二
五、三〇 番組豫告（日語）氣象通報
五、三五 番組豫告（滿語）氣象通報
六、〇〇 ニュース（東京より）
六、二〇 政府公報（滿語）
六、三〇 講演（東京より）選擧法改正と國民の覺悟 法制局參事官 入江俊郎
七、〇〇 管絃樂（東京より）‖新交響樂團練習所より中繼‖
七、三〇 寄席中繼（大阪より）‖大阪北新地花月俱樂部より‖ 花月亭 丸里丸 桂 春團治 鹿島 洋々 松葉家 奴
一、漫談 街で拾つた話
二、落語 阿彌陀池
三、漫才 年がお若い
八、三〇 時報、ニュース（東京より）
ローカルニュース（日語）
八、四五 國民の時間（滿語）國道建設之概要 國道局副局長 孔世培
九、一五 ニュース
九、三〇 番組豫告（滿語）演藝 六月雪 大觀樓 小桃
九、五〇 ニュース（英語）
一〇、〇〇 北滿の時間（ハルビンより）一、講演 滿洲帝國内に在るロシヤ人學校ボリソフ 二、レコード「メヌエット」初舞臺 三、ニュース

新版 江戸八景

（第一話）行友李風氏作 伊藤彦造氏畫

一二五三

江戸相撲と辰巳藝妓 六

鈴木彦次郎

野干啼つ秋（二）

權之助を探しあぐねて、やつと駈付けた作兵衛爺、大陽氣でフラリ〳〵と近寄りたが權之助は身動きもしない。

「どうした……權。作兵衛爺か……ウイー、お迎へに來てやつただ。──あれ？、お前、怪我したか。痛えだか……。」

身動きもしない權之助の姿に、作兵衛は大騷動をまき起した相撲場を思ひ出したのである。

「やれ、大變なこんだぞう……。足か、腕か、腰か……、足か、手か……。やれ〳〵、何んで默つてゐるだあ……。動くでねえぞ、いゝか……、ちよつくら藥を取つて來て、具合よく手當してやるで、動くでねえぞ。ちつとの間だ辛抱してゐろ……いゝか動くでねえぞ。」

爺さん、あわてて腰を浮かす。

「作兵衛……。」

「何んだなあ……。」

「俺あ……怪我なんかしねえ」

「本當か……。やれまあ、よかつたによ……。權、本當か。」

「うん。」

「そんなら、直ぐに歸るだ……お袋のおつたまげた面さ、見て見ろ……。來は來るわ、客は來るわ……。近所近在から祝ひ物の山だあ……。若衆はわれんとこの庭で餅さ打つてるぞう。さあ、ゆかう……。」

「……。」

「さあ、權！おれと一緒に歸らうぞい！」

作兵衛、及びもせぬ力で權之助の大きな體を持ち上ようとしてゐる

「はてな……、この身體を俺がおぶつてさ、家さの方へ連れて行つた事もはあ……、何度だか……。さあ立ちな……權之助。」

「作兵衛……。俺……。權……。」

「何にい……。」

「歸られねえ。」

「何故だあよ。」

「この面あ……お袋にや、見せられねえだあ……。」

昇つた月の光りをさつと受けて上た權之助の半面には、土俵の砂に塗まれた青痣が黒牡丹の様ににじみ擴がつてゐる。

「うあッ。馬鹿野郎が……。何んで早く手當てしねえ。何んで直ぐに俺のところへ來ねえんだ。馬鹿野郎奴かッ。さあ……早く歸えつて、藥おつぱるだ。」

「……。」

それでも、權之助は動かうともしないのだ。

「これ、權……立て。」

「作兵衛……、俺……歸らねえ」

「何こくだ馬鹿野郎……われが相撲に勝つて、村方一同が、晴れなこんだと喜び打つてるに、何んでお袋がお前をおつ叱るだあ……さあ、立て……。」

「俺あ歸られねえ。」

「何をこくんだあ……。」

「作兵衛……、俺あこのまゝ江戸へ行つて相撲になるだ」

「ひやあッ」

「俺は立派な相撲になつてあの江戸の海を土俵の眞中に、きッとぶち込んで見れる。」

秋の夜の、歯にしみ通る月光のなかに、傲然と胡座を組んで、ぐいと頭をもたげた權之助の眼指──彼の心の奥の奥に、父親が隱して行つて呉れたものは、時を得て蕾の開くが如くに、今こそ男の權之助の腕にくわッと目を覺ましたのだ。

（二）

同情週間寄附者

地方事務所扱ひ（單位は錢）

▲石黒源治（一〇〇）▲石黒徳治（五〇）▲大谷敏峯（三〇）▲石黒清一（五〇）▲永尚孝軍軌（一五五）▲和成祥魚部（一〇〇）▲和成祥（一〇五）▲天合商店（二〇〇）▲丸平出張所（五〇）▲市場食堂（一〇〇）▲永江七郎（一〇〇）▲大濱歳夫（一〇）▲加藤貢（一〇〇）▲庄司商店（一〇〇）▲山本秀雄（一〇〇）▲市場會社内山根（五〇）▲相田晋一（五〇）▲今瀧正男（五〇）▲鍋田（五〇）▲手塚昭朝（一〇〇）▲福合興（一〇〇）▲峯長春堂（一〇〇）▲和盛徳野菜部（一〇〇）▲増盛徳（五〇）、▲連盛徳（一〇〇）▲和盛徳（二〇〇）▲沼津関（一〇〇）▲是枝直藏（二〇〇）▲三瀬勝一（二〇）▲後藤計治（一〇）▲財満勇（二〇）▲窪津二三（一〇〇）▲濱崎商店（一〇〇）▲垣内太治馬（一〇〇）▲和田洋行（五〇）▲大和商店（一〇〇）▲三今永（一〇〇）▲趙書梅（二〇〇）▲玉凱（五〇）▲和田號（二〇〇）▲三盛公（一〇〇）▲安河内悟（五〇）▲砂原滋二（一〇〇）▲孟廣福（一〇〇）▲徳田魚店（二〇〇）▲杉尾正一（一〇〇）▲伊藤商店（二〇〇）▲今田商店（一〇〇）▲徳一魚店（一〇〇）▲崔元青（五〇）▲新都旅館社員一同（一〇〇）▲高野イシ（一〇〇）▲鐵事工務係一同（一一三）、▲山田要（一〇〇）▲坂井トミ枝（一〇〇）▲加藤清昌（一〇〇）▲柳利幸（一〇〇）▲西山（一〇〇）▲酒井武彦（一〇〇）▲前田テル子（一〇〇）▲黒木はま（一〇〇）▲野原（三〇）▲關惣兵衛（五〇）▲川上喜多子（一〇〇）▲北澤軍次郎（二〇〇）▲花菱（二〇）▲故引つい（二〇）▲小林儀左衛門（二〇〇）▲宮岡春吉（二〇）▲岡村きせ（一〇）▲郷原忠夫（一〇〇）▲金泰洋行女店員九名（二三五）▲金泰洋行敏江文枝匡子（五〇）▲金泰洋行店員（五〇）▲金泰洋行無名（五〇）▲石黒武（三〇）▲永井政信（三〇）▲石黒一郎（三〇）▲石山宜子（五〇）▲石黒仙治郎（一〇〇〇）▲金泰洋行女店員（五五）▲篠田力藏（一〇〇）▲堀井喜右衛門（一〇〇）▲菊池トミヱ（一〇〇）▲小西鹿藏（一〇〇）▲清水のぶ子（一〇〇）、▲福山看護婦會（一〇〇）▲竹内志ま（一〇〇）▲田中こまつ（一〇〇）

十二月二十日 舊十一月十四日 木曜 乙丑 赤口 除 斗宿

●一白の人 餘力を殘して事を行はざれば窮する事あり 丙と丁と辛が吉

●二黒の人 投機心を去り實直ならざれば大失敗を招く 甲と丁と癸が吉

●三碧の人 面倒苦勞を忍びて人の爲めに盡す樣すべし 甲と辛と亥が吉

●四綠の人 自負の念强ければ頓挫を來たすことある日 甲と乙と辛が吉

●五黄の人 職責を重んじ斯業に安んずれば重用せらる 申と子と丑が吉

●六白の人 幸福は足元に有り遠行は宜しからぬ日 丁と申と寅が吉

●七赤の人 進めば進むほど吉し外交の手腕を振ふべし 丁と壬と寅が吉

●八白の人 平易に過ぎずとも無事なるを以て滿足せよ 甲と癸と丑が吉

●九紫の人 意の如く決行して事を遂げ發展榮達する日 申と辛と亥が吉

新京日日新聞
朝刊
朝夕刊共十二頁
定價 一ケ月 一圓五十錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

廢棄通告手續き 海、外兩相意見一致
二十一日定例閣議に上程し 即日首相より上奏

大角海相

【東京國通】ワシントン條約廢棄通告方に關する件は十九日の樞密院本會議に於て可決直ちに政府に案の御下渡しがあつたので、廣田外相は樞密院本會議後大角海相と廢棄通告に關する手續きにつき打合せた結果右廢棄通告手續きに就ては二十一日の定例閣議に附議した上、即日岡田首相より上奏御裁可を仰ぎ、廣田外相は二十二日齋藤駐米大使宛右廢棄通告文を電送し齋藤大使は此の通告文を受理すると同時に米國政府と打合せの上ハル國務長官に對して華府條約廢棄通告文を手交することに完全に意見の一致を見た、依つて此の通告文を手交する期日は齋藤大使と米國政府との打合せに依つて決定される筈である

廣田外相

日本は英國同様
適當と認める時期に再開 外相、松平大使へ回訓

【東京國通】ロンドン豫備會商は十九日午後四時三國圓卓會議を開き休會に關する共同宣言案を採擇して一旦幕を閉ぢることとなつたが、右共同宣言案の內容に就ては十八日廣田外相に松平大使より請訓あり、その中英國が「適當と認める時期に於て再開する」云々の字句があるが、帝國政府としては素より再開期日の明示を希望するものであるが、招請國たる英國の立場等を考慮し重ねて希望は開陳するも結局英國の通告を認める時期に再開する旨承諾するに異議なき模樣で其の旨十八日夜松平大使に訓電を發した

ソ佛秘密協定成立か

【ロンドン十八日發國通】ソヴィエート政府の聯盟加入實現以來ソ佛兩國の接近は急激に進展し、東ヨーロッパロカルノ協定並にソ佛兩國通商協定に關する協調を提唱する以外更にソ佛兩國政府間には公表をされぬ秘密協定が成立してゐるとの觀測が頗る有力となるに至つたが、ロンドンの夕刊新聞スター紙は十八日の紙上にソ佛軍事同盟成立の報道を掲げ、全歐洲に衝擊を與へてゐる

日英のみの交渉繼續に 英國米國に氣兼

【ロンドン十八日發國通】米國代表部のロンドン出發歸國後日英間のみ會談を繼續する件に關しては、山本代表もこの儘踏止つて回訓の主旨に基き更にひた押しに押し、この際一氣に英國との諒解を纒める意向の如く察せられるが、英國としては米國への氣兼ねもあり現に十八日朝のデリーヘラルド紙の如きは米國代表部歸國後の日英會談の如きは米國に對して無禮だと云つて居る、從つて日英間のみで交渉するか否かは未だ判然して居ない

我回訓發送延期

【東京國通】英國和協試案に對する帝國政府の回訓は十七日の三省會議で大体意見の一致を見たので一兩日中に發せられる筈であつたが、豫備會商は廿日休會され、マクドナルド英首相やサイモン英外相等は廿六日まで休養に出るので、我回訓を急いで發電の必要なく愼重に案を練るため廿六日の英國側のロンドン到着に間に合はせれば充分として延期の模樣である

軍縮問題で
米國に硬軟兩派が對立

【ワシントン十八日發國通】豫備會商の開始以來次第に對立明確化したアメリカ朝野の强硬派と穩健派の意見は左の通りで條約廢棄樞府決定の東京電報を契機として、今や米國は何れかを選んで日本に對する必要あり、右に對して冷靜に傍觀してゐるルーズベルト大統領の最後決裁は注目を惹いてゐる

一、(海軍、法律家、工業家方面に有力と見られるもの)華府條約が世界軍備の根幹をなし世界平和は右に依てのみ維持され得べく、これを破壞する企ては崩芽のうちに摘み取り米國の世界第一の海軍保有を絶對的の建前とす

一、(知識階級より起りワシントン官邊が日本政府の通告の阻止を諦める感が漸次擡頭しつつあるもの)華府條約に合理的な修正を加へることの貫徹につとめ、平等權こそ日本の主張の形式に於て認めずとも比率主義を恒久的の鐵則と見ず、豫備會商に於る英試案等を足場として順次三國の意見調和點に歩み寄るを可とす

日滿眞の和合は精神的結合にある
赴任に際し 南軍司令官抱負を語る

【東京國通】南次郎大將は十九日午前九時東京驛發赴任の途に上つたが出發に際して次の如く語つた

滿洲事變は私が陸軍大臣をしてゐる時勃發したものであり、滿洲國に軍司令官、全權大使として赴任することは感慨深いものがあるが過去三年の滿洲國の進歩は日滿兩國の關係は勿論、地物一帶一新したことは近代歷史に於て稀有のことであつて御同慶である、之は日本國民一致の努力と滿洲國民一致の努力の合作に外ならない、然しながら今日までの滿洲國の發展はその基礎を築いたに過ぎない、その制度等には幾多改善を要することが少くない、在滿機構改革實施も近いと信ぜられるが對滿政策と指導方針の二大眼目に向つて凡ての施政が一途に出て私は此機會に軍司令官、全權大使たることに遭遇した次第である、申す迄も無く我國の根本方針は滿洲國の獨立を尊重し、その健全なる發達を促進し東洋の平和を確保し世界人道に寄與せんとするものであるから今後は一層滿洲國に甚大の關心を持たねばならぬ、その根本方針は日滿和合融和にある、而してその第一は精神的結合である、第二は双方の喜憂を共にすることにある、その第一の方法は滿洲國を立派な獨立國と爲すことである、日本國民にして假にも優越感を持つて滿洲國を保護國と見、屬國と見、附屬地と見るが如きものあるとすれば、それは世界各國就中滿洲國の道義忽ち墜ちて日滿兩國分裂を來す因となる第二の方法は經濟的結合の强化で相互に有無相通じ經濟的商業的にお互に犯すことなく若し日本が搾取的意思ある如く滿洲國に感ぜしめ、支那や各國に疑を持たしめるならそれは非常な誤りである、滿洲國の持つ幾多の產物は之が開發に資本が必要である、世間往々にして資本と財閥を混同するは狹量の見方で、日滿兩國の結合は資本を要しこれに依つて產業を開發し着々收益を擧げ兩國が經濟的に效果を擧げることが出來れば兩國の結合は益々鞏固となると信ずる

日滿經濟會議は新京で開催
實質的連絡機關は東京へ

【東京國通】日滿經濟會議は新京で開催されるが、兩國の實質的の連絡機關として對滿事務局を中心とする連絡事務所を東京に設置する事に決定した

驗訖費の徵收
明年一月から一齊に廢止

二十日勅令によつて從來稅捐局に徵收されて居た驗訖費が明年一月より全國一齊に廢止されることとなつた之が爲國民の負擔は相當輕減され更に商取引の促進に寄與するところ大なるものがあるであらう、驗訖費徵收の制度は古い沿革に基くものであつて舊政權時代より今日まで存續して居たものである、糧石、木材其の他各種貨物の搬運者が稅捐局、其の分局又は分卡の所在地を通過する場合に於て稅捐局員が其の搬運貨物に對する納稅の濟否を一々檢查するのである而して未納稅品である場合は直ちに稅金を徵收されるが其の貨物が納稅濟品である場合にも數量又は稅票の數に應じて驗訖費又は驗票費等の名目を以て檢查手數料を徵收されることゝなつて居た、而して品物によつては稅金よりも此驗訖費の負擔の方が多いやうな場合もあり、其の全國的負擔總額は每年推定五十萬圓以上にも達して居たのである、財政部に於てはかゝる稅以外の負擔を課する不合理なる制度の存在を遺憾とし負擔の輕減を圖ると共に一面商取引の發展に資すべく其の準備を進めてゐたが元來この驗訖費の大部分は稅捐局の經費に充當されて居つた等の關係上徵稅機關の整備後でなければこの制度を廢止し得ない事情にあつた爲に今日に至つたもので今般此廢止に對する諸般の準備も漸く整ひ、徵稅機關の整備も其の緒に付いたので茲に勅令を以て不合理なる驗訖費制度の存在を廢止したのであるが此廢止によつて國民の受ける利益は甚大なものと期待されてゐる

出產糧石稅
明年十一月實施

滿洲國政府においては昨年十一月出產糧石稅法を制定し從來各省區々であつた稅率を統一負擔の均衡を圖ると共に經濟取引の發展を促進せしめたが、舊熱河省と舊興安西分省に限り同地方の經濟事情及政治工作等諸般情勢を考慮して急激に稅制を變更することを不適當として從前通り熱河徵收貨物稅章程を適用して出產稅(從價百分の一乃至百分の二)、一成教育基金(出產稅の十分一)及斗用(一斗に付五厘乃至一分)を課稅して今日に至つたものである、然るに最近に於ける當地方課稅の狀勢は課稅上特殊地域として取扱ふの要なきに至つたのみでなく出產糧石稅法を適用することに依つて國民の課稅負擔は却つて輕減されることとなつたので明年一月一日より舊熱河省及舊興安西、省にも他地方と同樣に出產糧石稅法を適用することとなり同時に從來同地方の出產糧石に對して課稅されて居た出產稅、一成教育基金及斗用の諸稅は之を廢止することとなつた

ここに十二年
華府會議以來 驚くべき造兵造機進歩の跡

【東京國通】華府條約がその締結以來十二年を經過した今日全くの死文となつて存在の一顧の價値もないことは米國をはじめ各國の艦船兵器が甚大の進歩を來してゐる事が其最大の理由である、今試みに華府會議當時と現今の艦船兵器の性能を比較說明してみるに如何に其進歩變遷の激しいかに何人も驚くであらう

主力艦

一、航續力—華府會議當時は最大七千浬に過ぎなかつたものが、艦體の改裝、汽罐の改善による燃料庫の增大に依つて現在は最大二萬浬に達してゐる

二、速力—華府會議當時は二十一節乃至二十二節であるが、航續距離の增大に專心してゐる關係上速力は餘り增加せしめない

三、主砲射程—華府會議當時はせいぜい二萬メートル內外のものが、その後漸次仰角を增加せしめた結果、現在は最大四萬メートルに達し得る

四、水平防禦—華府會議當時は全然なかつたが、航空機の發達、射程の增大等に從つて現在は厚さ五吋程度の水平裝甲を施してゐる

五、水中防禦—華府會議當時は皆無であつたが現在主力艦には防備裝置を施し三發や四發の魚雷が命中しても沈沒しない

六、搭載飛行機—府會議當時は一台も搭載してゐなかつたが、現在はいづれも三機乃至五機搭載してゐる

甲級巡洋艦

華府會議當時は一萬噸級以上のものは速力二十節、航續距離六千浬、主砲射程一萬五六千メートルに過ぎなかつたが、其後の進歩によつて主砲口徑八吋、射程三萬メートルに近く速力も亦三十二節以上航續距離に至つては當時の三乃至四倍に達して居り、搭載飛行機も當時は一機もなかつたものが現在はいづれも六機の水上機を搭載し隨時隨所で活用出來る仕組みにしてゐる

航空母艦

華府會議當時米國は「ラングレー」(一萬一千五百噸)一隻を有してゐたのみで、しかも搭載飛行機數は三十機に過ぎなかつたが、現在の「レキシントン」「サラトガ」(共に三萬三千噸)及び「レンヂャー」(一萬三千八百噸)は各約百廿機を搭載しその航續距離は一萬數千浬に近く攻擊力の增大は恐るべきものがある

飛行機

華府會議當時は最優機でさへ僅かに五百浬を漸く飛び得る程度であつたが、現今は三千浬を飛び得るものが出來てゐる

通信

華府會議當時は强力な發信機を持つてゐる艦でも通信距離はせいぜい二千浬に過ぎなかつたものが、その後短波の採用によつて現今は世界の如何なる所とも自由に通信出來る

會議の經緯

人類史上嘗て見ざる慘禍を現出したヨーロッパ大戰後第二次世界大戰の不安に驅られて皮肉にも軍備擴張熱は倍加して英國は依然その海軍政策に於て二國標準主義をとり、佛國は海軍復興(ルネサンス、ド、ラ、マリン)を國是とし米國はこの機會に對英パリテイを獲得せんと努力し日本も亦この禍中に捲き込まれるに至つた

その他の各國にあつても國民は過重の負擔に苦しみ軍縮輿論は國際的關心事となり到底これに無關心ではあり得なくなつたので米國政府はこれを機會に

一、軍縮を斷行

一、太平洋極東問題(例へば加州邦人移民排斥問題等)について日米間の緊張に從ひ日英同盟の存續を嫌忌しこれ等の問題について英米間に何等かの諒解を成立せしめんとした

一、國際聯盟に加入せざるためこれに代るものを組織せんとした

等々の動機で、米國政府は一九二一年(大正十年)七月十一日駐日米大使ベル氏を通じて內田外相に對し非公式詔請狀を發し、次いで八月十三日正式通牒に接したので、帝國政府は八月二十三日附を以て欣然應諾を回答しかくて一九二一年十一月十二日ワシントンのコンチネンタル、メモリアル・ホールでこの歷史的會議の開會式が擧行された

會議々題

會議の議題についてはヒューズ國務長官と各大使との間に非公式協議があつた結果左の如く決定した

A、軍備制限
一、海軍々備制限
一、陸軍々備制限
B、太平洋及極東問題
イ、支那問題
ロ、西比利亞問題
ハ、委任統治問題

軍備制限交渉

上述の如くワシントン會議の議題は頗る廣範圍なものであつたが、ヒューズ首席全權は突如、眞に突如世に「外交爆彈」と稱せられる軍縮の提案をなし「期するところは實行に在り」り喝破し各國全權を驚愕せしめると同時に讚嘆の拍手鳴りも止まず滿堂を魅了し去つた

ヒューズ爆彈

向ふ十ケ年の海軍休日ネーバルホリデイを設け

一、實行中又は建造計畫中の主力艦は全部之を中止し老齡艦は全部之を廢止す

一、一般に關係列國の現在海軍力に考慮を加ふ

一、主力艦を海軍力測定の基準となし一定の補助艦の勢力を之に比例して割當てること

結局英米三國の海軍力比率を五、五、三にすると定めたものである

英國全權バルフォ氏は起つて英國政府はヒューズ氏の大膽卒直にして經世的なる言明に對し滿腔の賛意を表し米國案が會議成功の有力なる基礎たるべきことを確信すと述べ、加藤全權も起つて帝國政府も亦海軍力に削減を行ふ決意を有す旨闡明し更にヒューズ案を討議の基礎となすことに全然異議なきも細目に亘りて多少の修正を提議することあるべき旨を申添えた、即ち問題は各國海軍力測定の基準となるべき現有勢力算出の方法數字如何にあつた、米國の日英に對する現有勢力算定法は自分勝手なものであつたので英國のビーテイ大將の如きは、「馬鹿々々しくてお話にならぬ」と會議中途でサッサと歸國した、米國の日本に對する計算なるものは、旣成艦陸奧を故意に未成に入れたりした米五日三(六割)であつたが、わが加藤寬治中將は五對三、五(七割)を主張して讓らない、そこで押問答を重ね加藤中將は激怒し然らば米國は十對六の比率を日本に命令するものなるかとつめよりル氏をして叩頭せしめる等の劇的シーンを展開した、七割の勢力がなければ海戰術の公則としてわが戰勝率はゼロとなるとの立場より即ち換言すればわが國存立の死活的問題との見地より力說し會議は比率問題で危機に瀕した、この頃加藤(寬)中將は比率問題に日夜苦鬪し且つ憤懣やる方ない有樣にわが全權加藤友三郎子が「間違ひを起さねばよいが」と寢室を見舞つたとは有名なエピソードである、かくて比率問題は海軍專門家の手より全權の政治的折衝に委ねられ、加藤全權は四圍の情勢に鑑み大體原案の五、五、三を承認する旨言明し、わが增率要求の根據が國防安全といふ點にあつたので六割實行に對する日本の安全を保障するため太平洋の防備は現狀維持(太平洋防備制限協定)を米國に約せしめた

かくてこれと交換的に日米比率問題を解決し佛伊の主力艦保有量問題もパリテイで結着した、補助艦制限問題は紛糾を重ね特に潜水艦保有について意見合はず補助艦の最大排水量備砲制限は一萬トン八吋と決定航空母艦の日英米佛伊保有量も決定しこゝにワシントン海軍制限條約は曲りなりにも成立し一九二二年(去十一年)閉會式となつた

王寵惠氏

【香港十九日發國通】南下中であつた王寵惠氏は十八日夜十二時當地發クリーブランド號で上海に向つた

新機關の實施と滿洲幣制問題

對滿新機構の實施は政治的經濟的轉換を意味するものなる事は昨日の本欄に述べた所である。之に關し南新司令官は「日滿兩國は未だ經濟的には明確なる成案を得て居ないから、今後は經濟國策の樹立に努力し云々」と强調して、第一に經濟工作の轉換を力强く叫んで居る。

而して實際に之に當るのは對滿事務局次長に新任された川越丈雄氏であると言はれて居る。氏は、傳へられる所によれば、日滿經濟の圓滑なる發達を阻害して居るのは兩國幣制の相違に基くのであるから第一に兩國幣制の改善を目標とし、特に最近朝鮮銀行券の發行高激增並に金圓と國幣の價格不均衡を是正するのが急務であるとの考をもつて居るとの事である。

× ×

本文の記者は日滿兩國幣制の相違及價格の不均衡の、日滿經濟に惡影響を結果する事實を本月十一日より三日間に亘り本欄に指摘したのである が、之が是正の點に付ては全く此の川越氏の意見と同一である。然し問題は、然らば日滿兩國の幣制を如何に統一し價格の不均衡を如何に是正するかにある。言ふ迄もなく、日本は金本位……兌換停止ではあるが……にして、滿洲は銀を單位とする通貨制度であつて、之が統一是正は、とりも直さず何れか一方の單位に統一するにある。然るに今日日本の幣制をまさか銀本位にしやうと考へる者もあるまいから、川越氏の意見は究極する所、滿洲國の幣制を金本位にするか、金圓本位にするかにあると見ねばならない。

所が高橋大藏大臣は、滿洲國の金本位に反對して「滿洲の通貨問題は、世間では日本と同じ通貨を滿洲で使へば政治的に、經濟的に日本の勢力が延びる樣に考へて居る人が多いが、そんな考は間違つて居るたとへば對支貿易のそもそもはメキシコダラーで行はれたものだがメキシコの勢力が東洋に伸びたと云ふ話も聞かない、滿洲はやつぱり支那との關係をよく見て支那の通貨と同じ樣な基礎においた方がよい」と明に銀本位を支持して居る。

× ×

此の二つの意見は正に對立して居る。高橋藏相が金本位に反對し、その下に銀行局長たる而して新機構の事務局次長たるべき川越氏が兩國幣制の統一を主張して居る。此の事實が報導されて滿洲財界に大きなショックを與へて十六日の如き金票對國幣の相場は全く混亂に陷つた。十七日は疑念が稍々一掃されて引締つたがそれでも二圓余を下廻つて居る。

加ふるに高橋藏相は、合銀と鮮銀の發行權を取り上げ之を日本銀行に統一する理想を以て着々準備してゐるとの事以上等々の材料は少からず滿洲國幣に疑惑を持たしめるに至つたのである。

× ×

滿洲國の通貨問題は金本位にするにせよ、金圓本位にするにせよ、日本の援助なしには到底なし得る所でない。然るに高橋藏相が明確に滿洲の金本位制に反對して居るのであるから之が解決は容易でないことは明だ。

さり乍ら、日滿經濟ブロックの强化なしには滿洲建國は意義をなさない。そしてそれは滿洲が健全なる成長をなせばなす程其の關係は濃化し反對に對滿他外國の關係は薄らぎつゝある。南新司令官が兩國經濟の成案を急ぐのも理由は玆にあるのである。

高橋藏相が言ふ樣に滿洲は支那と事情を同じくし通貨も支那と同一基礎におく事は建國前迄は確かにさうであつたけれども建國と共に此の事情は一變した。從來の支那との關係は移して以て日本との關係となり、對日關係は更に密接になりつゝあるのである。

× ×

勿論、滿洲國幣制を金又は金圓本位にする事には滿洲國自体に確かに大きな動搖を與へる。即ちそれは或程度の平價切下を斷行せねばならぬからである。さり乍ら、國幣の騰貴は海外銀高の結果であり更に圓の下落……それは滿洲事變費の爲……此等を顧みる時多少の犠牲は忍ばねばなるまい。

勿論、通貨の統一は原則として人心の動搖を避け、可能的國民の犠牲を輕減して行かねばならぬこと勿論である。

增税豫算を巡る 高橋 藤井 財政の功罪

惡性インフレは避ける

法學博士 三田村一郎

病軀を押して漸く臨時議會に間に合はした藤井前藏相の所謂增税案の目的なるものについて吾々は今や當局の說明を離れて

考察の 歩武を進めねばならぬ、私は現在の敗政當局と之を動かしつゝある社會的經濟的勢力關係から推して軍事費を中心とする經費膨脹は必至であり又徹底的大增税は少くとも當分至難であると考へる、從つて財政インフレは尙繼續すべく、インフレ政策の根本的基調は不動であると見る、蓋し惡性インフレは軈て信用組織の基礎の崩壞を招致し、且今日の切迫せる社會情勢の下に於ては資本主義そのものの運命に關する重大危機を齎らすであらうから、金融資本は云ふ迄もなく、産業資本も亦之が回避を要するは必然である、だから現實の

政策上 に於て問題となり得るインフレは、所謂統制インフレ以外にはあり得ない、高橋財政の基調も藤井財政の基調も共にコントロールド、インフレたるの上に變りはない、唯インフレを統制する方法は確かに轉換した、高橋財政は日銀のオープンマーケット、オペレーションを通じてインフレを統制した、そしてこの方法に依る統制インフレに對しては金融資本のみでなく産業資本も亦さして反對の理由を持たなかつた、だが最近

公債の 累積と金融機關による公債投資の急激な進行の結果、公債市場の消化力が減退した爲に、高橋藏相の傳家の寶刀たる日銀の公開市場政策のブレーキが利かなくなつた、公債の値下り、日銀引受公債の最近に於ける賣行停頓の現象は如實に這般の事情を物語つてゐる然るに經費の膨脹從つて又公債の增收は容易に止む形勢も見えない、玆に於てか惡性インフレの驟念が財界一般に濃厚となつて來たことは當然であらう

惡性イ ンフレは避けねばならぬ、而も公開市場政策のブレーキは鈍り勝ちとなつて來た、玆に吾々は之に代るべきインフレ統制のブレーキとしての增税が登場せざるを得ない理由―增税案の必然性とその客觀的意義とを看取し得又看取しなければならない、公債の値下りを惧れ、惡性インフレを蛇蝎の如く嫌惡する金融資本が今回の增税案に賛意を表し、又直接增税を課せられる産業資本が等しく惡性インフレを懼れつゝも

增税案 に好感を持たないのは、共に自然であらう、而して增税委が差當り三四千萬圓の僅少の增税を目論むに止めたことも亦兩資本の勢力關係の一反映があり、一種の妥當とも見るべきであらう

讀者の聲

薩摩琵琶を教へて下さい

城山生

東海林太郎や勝太郎の流行唄がいつまでも全盛をつゞけ得られるものでもあるまい、一吟懦夫をも立たしめるやうな勇壯活潑な詩吟や薩摩琵琶歟の如さが、せめては男子間に迎へられんことを望んでやまない、新京で薩摩琵琶を職業的に教授せられないまでも、好意的に教へて下さる御方を御承知でしたら御教示下さいませんでせうか、讀者各位に御願ひいたします

村上義人の爲め拙歌を呈す

新京石川生

みを捨て心を楯る人のため盡せし事の鋒とかりけり
身は鐵か心を楯に敷島の大和男子の勇ましきかな
日本人玆に在りその言の葉は短かくも
我か日の本の精華なりけり

祝朝川家の結婚

石川生

大滿洲の廣野にうへむ敷島のやまとしまねのわかき草木を
わかまつのみどりも榮へて千代迄と祝ふ今宵は目出たかりけり

拓務省移民の展望（三）

△移民本部 移民團本部は三千坪の土地に周壁をめぐらし、中庭をとつて周圍に四字形の建物百坪余の滿洲式の建築である和洋折衷の試驗家屋や團員の集合家屋、醸造所、製粉所、製麥麵場、油坊、醫院、鍛冶場、蹄鐵場、野菜穀類の倉庫等があり、種畜には多くの家畜が飼つてあつてさながら農事試驗場の觀を呈してゐる、又農場の全景が一眼に收められる景勝の地に彌榮神社が建立され森林地帶から伐出した眞新らしい白木の社殿、同じく花崗石の土臺一切のものが移民の手で造られた立派なものである、これが日本精神のシムボルであり、民族的信仰の的であり同時に尊い犠牲者の魂の寧安所であつて、移民は決してその崇拜を怠らないとの事だ教育機關は未だないが近く渡滿する家族の中には學齡兒童もあるので小規模乍ら小學校も設置し教師を內地から呼ぶ計畫が樹てられてゐる娛樂機關は以前皆無だつたため相當閑暇にされたが今ではラヂオや蓄音器も出來多少の慰安が得られる樣になつた

第二次移民

△七虎力 拓務省第二次移民の定植した七虎力は依蘭縣の東端、倭肯河の支流七虎力河の流域で河を中心に頭道溝、四道溝、蔡家溝、國家溝それに七虎力司令溝と南北二里東西四里に亘り地域一帶滿洲らしい緩漫な丘陵性の原野だが、拓務省の移住地選定條件たる「土地肥沃にして地價低廉、未耕地步合多く既住民少く、且つ近き將來に於て交通の便開ける所」にぴつたり合致する地であるこの入口に胡南營といふ戸數三百戸ほどの田舍町があつてこの地方の中心をなして居る、移民團は第一次の移民を出した十一縣と、北大營の外に埼玉、富山、石川、山梨、神奈川、東京、福井、千葉の各縣を加へた九縣から選拔され、その數四百八十六名前回の經驗を基礎として充分なる豫備訓練が施された後、昭和八年七月（第一次より約十ケ月遲れて）北滿に骨を埋むる覺悟で入殖したのである定期後の諸準備に就ては第一次と大同小異のコースであるから省略するが多少異つた點を拾つて見ると幹部の構成等に於て武裝自衞移民とは云へ軍隊的統制より多少緩和され團員の自治が認められてゐた點、入殖時期が盛夏だつたので直ちに基礎工作並に開墾に着手することが出來、各營の準備が順調に行はれた點、及び來春家族を呼寄せる精神的な喜びがあつた點に於て第一次の缺點を補ふものがあつた又移民地と佳木斯、水實鎭間は毎月一回トラックが往復し同縣出身の先輩移民と種々連絡し勵め勵し合ふ機會も與へられてゐた、ところが豫期に反し入殖一ケ月を終らない中に大量の退團者を出し當局を狼狽させたが、その理由は後段に於て述べるが、この間土地借入が思ふやうに進捗しなかつたり、匪賊の襲擊があつたりして移民團としては決して上等のスタートではなかつた、以來同移民團は騷然たる附近の治安狀態に禍ひされ翌年五月播種期に至る迄大は謝文東匪の襲擊を始め大小數回に亘つて匪團の洗禮を受け遂に十二名の尊い犠牲者を出したのである

△現勢 移民團の組織は第一次に倣ひ大隊編成、各縣を三中隊に分け日澤中佐大隊長に須永、多田、島澤三中尉が中隊長となり、後に第一次同樣軍出身指導者が歸還して農事指導員だつた宗光維賜託が之に代つて團長となつたが軍隊組織はその儘繼承して今日に及んでゐる、尙團員の現勢は左の如き變化を示してゐる

府縣別	入植當初	一年目（本年八月）
宮城	三九	二一
福島	四三	二二
青森	一五	九
秋田	三一	一〇
山形	三五	三二
新潟	五三	三九
富山	三四	二一
石川	二九	一五
山梨	三〇	二七
神奈川	九	五
埼玉	五	二
東京	五	〇
茨城	一八	三
群馬	一九	一〇
栃木	二〇	一四
長野	二八	二五
福井	三七	二一
北大營	二七	二三
計	四八六	三〇〇

蒙古を見よ（下）

マヘンドラ、プラタプ

我々は人道の五大特質に尊敬と認識を持たねばならない、その五大時質とは（一）美（二）力（三）智（四）道德（五）光である、光とは佛陀の光キリストの光、クリスナ（印度教）の光、マホメットの光、がこれである、我々は何處に於ても民族とか國民とかの偏見を棄てゝ此の五つの特質を尊敬し認識せなければならない、我々の理想とする世界聯邦、世界義勇軍、世界統一、世界家族、世界平和の運動は人類が太陽をめぐるこの地球上にて平和に生存すべきことを提示するものである、我々は今その第一歩として蒙古民族の國家觀、社會觀を轉換せしめなければならない

× ×

蒙古は茫漠たる高原である、廣い溪谷と低い丘があり、草は到る處に生ひ茂つてゐる、私達が二百哩以上も旅した間に流れと稱せられるものは僅に一つしかなかつた、この流れの周圍に僅かの蒙古包があり、これが蒙古人の部落である、蒙古人の中には小さな支那家屋を持つてゐるものもある、家の傍には牛や其他家畜を飼育するために庭がある、獰猛なる蒙古犬が餓えた狼を防ぐのである

蒙古人の食物は極めて簡單なものであるが、それにつけるクリームには非常に榮養がある、一般に彼等は麥粉をそのまゝ食べてゐる、處に依つてはジャガイモが多い、これらのものは殆んど支那農民がもたらすのである、蒙古人は耕作はやつてゐない、彼等はミルクとミルクより製するものを豐富に持つてゐる、羊や山羊の肉は金持の家には豐富にある、かも鹿は極めて多いある谷には鹿が數百匹もゐるのを見た、獵師はその肉を用ひてゐる

× ×

蒙古人は自由に對して非常な熱情を持つてゐる、彼等の生活は獨立的である、蒙古人を團結せしめてゐる唯一のものは佛教である、僧侶はすべての事に權力を有し、王公といへども最高のラマ僧には尊敬を拂はねばならない、蒙古には大きな寺は多く、德王の領內のみで二十五の大きな寺がある、その寺には獨身の僧が百人以上も住み、彼等は子供の頃からこのラマの社會に入るのである、佛陀は二十九才の時家と家族を棄て、三十五才の時佛教を体得した、然し普通の人間は恐らくこの偉大な手本にならふことが出來ないであらう、現在のラマ教を見るとき僧の數を減じ質を向上しなければならない

人類の敵は佛教を望ましくないものとして棄てゝゐる、然し佛教が正しいものであれば人間の社會生活の解決を與へる筈である、すべて人類の鬪爭や葛藤は富と權力のために存在する、佛教は所有の欲望を勇敢に拋棄せしめてゐる而して現在の社會生活は二千五百年前の如く正しいものではない、我々は現代に於ては佛教、ヒンズー教、キリスト教イスラム教の精神を合し、これを整調して行かねばならない、これを私が世界聯邦及び宗教統一の名に於て爲さんとしてゐるのである

私は滿洲國の指導者及び民衆並に日本の政治家及び大衆に我々の計畫を採用されん事を訴へるのである、若し諸君がこの世界に新しき何物かを創造せんとするならば我々のこの爭の絕へない社會を平和の內に幸福な秩序ある社會にせんとするこの計畫を認めなければならないだらうと思ふのである、佛陀の智識を以てすべての人類は世界平和のために働き得るのであり、全世界の安寧、福利は個人の最もよき安寧福利となり得るのである、日滿兩國は人類愛、世界正義に立脚した世界聯邦政府の大理想を實現するために協力一致してゐるのである、然し大宮殿を造るにも一角から始める如く一つ一つ家にしてもこれを一擧に造り上げることは出來ない、私は日滿兩國が先づ西藏から日本に至る「全國」の統一に働きかけねばならぬことを提示する、此の「全國」は亞細亞の他の地域と共に全亞細亞の統一をもたらすであらう、而して亞細亞は歐羅巴アフリカ、南北アメリカと共に世界聯邦の旗の下にハワイのホノルヽに首府を持つ我等の世界政府を形成するに至るであらう

そして人の流れは何らの束縛も制限もなく、世界を自由に流れて行く、人々は人類の美點を包含して一致團結するに至り、すべての個人は彼の立場に於て自己の勞働の實のりを幸福に樂しむことが出來るのである

壓迫は失はれ、虛榮は消え、愛が滿ちみちて來る

我々は共にこの目的のために働かう！

創造の力、人類の創造者はすべての人が幸福になることを望んでゐる、神は我々を助ける、神は我々の無智を失くすることに協力し、世界を打つて一丸とする兄弟愛の團結になすことに協力するであらう（終）

一語

わが外交史上特筆すべき華府條約廢棄通告案はきのふ樞府本會議を通過した、廿一日の閣議で更めて公文書、通告期日を正式決定し、いよいよ米國へ手交する段取だ▼平沼副議長の審査報告にもあつた通りわが日本根本方針は現在の比率主義から脱却して國防の安全感と不脅威不侵略の鐵則に基くもので他意がないのだ▼若しこれによつて事實外交上孤立に陷るとも致し方なく或る一國が他國の脅威を受ける場合、また國防上の缺陷を認める場合、そこに國際的平和はないはずだ▼華府條約締結いらいの久しい大きな惱みであつただけに、この廢棄通告によつて吾々國民は齊しく重荷を下した感じがするとゝもに、更に新たなる大きな決意を要する▼前關東軍司令官菱刈大將には滿洲國皇帝陛下とのお別れの挨拶をすました後いよいよ來る廿六日離京する、在任長い方ではなかつたが故武藤元帥逝去のあとを受けて所謂三位一体の重任をみごとに果し得た人▼日滿兩國に殘した偉大なる功績は勿論平素誰にも極めて親しみ深く吾々に取つて眞に慈父の如き將軍と別れるのは何より心寂しい

北滿

平賀旅團陣歿者の忠靈塔を建設

舊黑龍江省下廿五縣民が皇軍への崇德報功

【チチハル國通】日滿融和の聞くもうれしいニユース―舊黑龍江省南部地區綏化、呼蘭外廿五縣民は滿洲事變後同地方に駐屯して治安恢復に努力中滿洲國の人柱となつて陣歿した平賀旅團の戰死者に對し崇德報功の意を表するため各々零細な金を醵出し呼蘭縣城西端公園にその忠靈塔を建立して永久にその德を慕ふため本年七月より工を急いで居たが此程竣工したので愈々廿日午前十時より盛大なる除幕式を擧行する事となつた

洮南鐵路局長一行 管下守備隊年末慰問

【チチハル國通】日夜嚴寒と鬪ひ鐵道守備に當つてゐる守備隊年末慰問のため洮南鐵路局の周、酒井正副局長、安達警務、渡邊文書兩課長等は十五日洮南發克山、四平街間の管内沿線各地の守備隊を慰問し各○隊に對し蓄音機一個レコードその他慰問品を贈呈してゐるが十八日來齊、更に南下し廿日までに年末慰問を終了の筈である

洮南大賚間 バス運行開始

【チチハル國通】洮南鐵路局にて計畫中であつた洮南―大賚間のバス運行は去る十五日より開始された、これにより新京鐵路局で運行中の新京―大賚間のバスと連絡し洮南―新京間のバス連絡が完成された譯である

御下賜の眞綿を捧持し 杉村通譯生來哈

【ハルビン國通】大使館杉村通譯生は先般土岐宮内事務官より菱刈大使に傳達された皇后 皇太后兩陛下御下賜の眞綿を捧持して十九日午後二時五十分着列車で來哈したが御下賜品は森島總領事の手を經て管下各領事館警察署員に傳達されることゝなつた

若山部隊滿期兵 武勳を殘し凱旋

【ハルビン國通】若山本部隊の滿期兵○○○名は數々の輝く武勳を樹て來る十九日、二十日の兩日に亘つて内地に凱旋することゝなつた、右交代兵○○○名は來る○日到着する豫定である

若山○隊滿期兵凱旋

【ハルビン國通】若山○隊の滿期兵○○○名は輝く武勳を殘して十九日午后一時廿四分濱江驛發母國へ晴の凱旋の途についたが驛頭には盛大な居留民の見送りがあつた

猛獸狩旅客 鐵路局運賃割引

【ハルビン國通】ロシヤ人數名は拉賓線奥地で虎、熊、鹿等の猛獸狩のトツプをきるべく既に出發したが鐵路總局では狩獵愛好者のために二十名以下は三割引、二十名以上は五割引のサーヴイスをすることになつて居る

ゲ・ペ・ウの飛躍で 北鐵ソ聯從業員大衝動

【ハルビン國通】ソ聯に於ける共產黨の立役者キロフ暗殺事件に伴ひ、生殺興奪の權を有するゲ、ペ、ウは往年の赤色テロを復活し不穩分子の除に躍起となつてゐるとの報道は北鐵讓渡交涉成立後本國に引上げるべき北鐵ソ聯從業員に多大の衝動を與へ、最近本國に引上げることを好まざる者增加の傾向にあるので、ソ聯側では「本國に於けるゲ、ペ、ウの飛躍はテロ分子の一掃にあり、その他の者の身邊に波及するものではない」と御用紙其他を通じて從業員間に漂ふ不安の一掃に懸命となつてゐる

北黑線開通式 參列者歸哈

【ハルビン國通】去る十三日特別列車でハルビン發黑河に於る北黑線開通式並に殉職者慰靈祭に臨んだ一行百九名は十八日午後七時半歸哈した

交通部總務司長 佳木斯へ

【ハルビン國通】地方行政機構改革後の狀況を視察の爲十八日飛行機で來哈した竹内交通部總務司長は十九日午前九時發飛行機で佳木斯に向つた

施履本氏 歸哈語る

【ハルビン國通】黑河に於ける北黑線の開通式に臨んだ北滿外交特派員施履本氏はチチハル經由北齊線で十八日歸任したが大要左の如く語る

建設局より提供された特別臨時列車で新鐵道に依り黑河に向ひ同鐵道の開通式に臨んだが新線の乘心地は實に爽快なるものであつた、途中は至極平穩無事で車窓より農耕地を眺めたが沿線一帶の農產物の前途は洋々たるものあるを痛感した、ソ聯との懸案は引續き之が解決に努めてゐる

李警備司令送別會

【ハルビン國通】濱江地區警備司令李文炳氏は今回新京に榮轉する事となつたので商務會では十八日午後五時より盛大な送別會を催した、尚李氏は來る二十三日頃新京に向ふ豫定である

同和自動車 ハルビンに進出

【ハルビン國通】日滿合辦資本金六百萬圓を以て生れた同和自動車工業會社は純國產品を以て外國製品に拮抗する目的で全滿各地に支店を設け活躍することになつて居るがハルビンには一千二百六十坪の工場を設け近日中に開店することゝなつた

南滿

中央訓練所第一回卒業式

臨場で廿四日擧行

【奉天國通】中央訓練所に於ては 御臨場の下に來る廿四日午前十時より同所に於て第一回日系軍官、軍需學生の卒業式を擧行することゝなつたが、當日の式次左の如し

一、午前十時皇帝御名代臨場
一、十時半より軍官、軍需學生の講演
一、十一時廿五分より卒業證書授與式
一、正午より宴會
一、午後一時、皇帝御名代退場

王爺廟に 電報電話局開設

【奉天國通】地方通信機關の整備に努力しつゝある滿洲電々會社奉天管理所では今回王爺廟に電報電話局を新設、事務開始に至つたので十二月廿三日午前十一時より同地市立第一小學校に於て開局式を擧行することゝなつた

農民の窮迫で 貸付回收不良

金融合作社の未回收五萬圓

【奉天國通】奉天市金融合作社の管下各區農村に對する春耕貸金の貸付は總額十三萬六千圓に對してゐるが同社では本年も例年通り秋の特產出廻期より之が回收を開始し現在に於ても尚回收を行つてゐるが、本月十五日迄の成績を見ると約八萬圓の回收をなし得たに過ぎず、殘額五萬圓は未回收の有樣で如何に地方農民が困窮してゐるかゞ窺はれる

高明參謀長 在安部隊慰問

【安東國通】第一軍管區司令官于芷山上將代理高明參謀長は管下部隊慰問のため十八日午後五時十分奉天より來安した、十九日は在安部隊を視察慰問する筈である

安東稅關で 窮乏鮮人救濟

【安東國通】安東在住の朝鮮人は約その三分の一が密輸關係者であると云ふかんばしからぬ實情にあり、最近稅率の改正及び稅關側の密輸取締嚴重となつた結果、必然的に生活の根據を奪はれ日々の食に飢えるものを生ずるに至つた安東稅關はこの狀況に鑑み當面の窮民救濟を兼ねて不正業者の絶滅を圖るべく今次尚本安東領事を通じ國幣五千圓安東朝鮮人會授產所に寄附したので授產所では最も有效に之を使用すべく目下考慮中である

關東廳刑事課 大連へ移轉

【大連國通】關東廳刑事課は新機構の實施と共に大連に移轉することに內定した、從來大連は分室が設置されてゐたが、刑事課全部の大連移轉は當然とされてゐる、尚同課は從來全滿關東廳管下警察署管內に發生した刑事犯罪調査に當り、指紋、寫眞等を照會、提供するの外犯罪捜査上の理化學的鑑定を行ひ各種の資料を蒐集するなど犯罪捜査に一〇〇パーセントの科學力を應用し檢擧に貢獻して來たものである

東滿

于芷山上將 營口に赴く

【營口國通】第一軍管區司令官于芷山上將は新編制以來最初の管下視察のため十八日來營、駐營混成第四旅を檢閲した

鐵路局愛護會議を開く

【圖們國通】圖們滿鐵クラブを會場とし鐵路局では廿一日圖寧沿線の鐵道愛護村々長並に顧問を召集して愛護會議を開催するが、當日は延吉に於ても省、縣各公署協和會、日滿軍警及び附近京圖線愛護村々長顧問等會合して同樣の會議を開く豫定である

滿洲東方の大玄關 三港見學記(七)

在新京 十五郎生

明月溝驛哈爾巴嶺は敦化と延吉との分水嶺であると同時に縣界の要關である、宛かも日本の箱根に比すべき所にして此れより以東を間島と云ひ延吉平野に向ふのである汽車は段々高山地帶を離れ一歩又一歩と平原に近づく、明月溝は其盆地である、以前の名稱は雍陛習子と呼ばれ、市街は布爾巴通河の流域にあり緩やかな傾斜の丘陵を負ひ風光明媚にして敦化及間島街道の要衝に當り哈爾巴嶺を間島の境界とすれば、明月溝は玄關に當る哈爾巴嶺を箱根山に比するならば、明月溝に比すべきで明月溝にある無名城址は之を小田原城址に比すべきである

◉名も知らぬ城址に 怪あり五月闇

驛より下車して東方に當りて市街あり、明月溝と倒木溝との兩部落とより成り、事變前には戶數約四百と稱せられしが、鐵道開通以來急激に發展し目下益々擴大され現在は人口六千餘、日人約百五十人あり、日本領事館分館、憲兵隊守備隊あり、大豆の集散地として將來有望視さる、同地は嘗て敦圖線測量開始當時王德林の叛軍に襲擊せられ、悲壯なる最後を遂げた滿鐵派遣員中村、伊藤兩氏の弔魂碑は驛東の山腹に建立せらる、此地を通過する人の等しく默禱を捧ぐべき紀念碑である

◉碑の前に額けばあはれ 虫の聲

茶條溝驛 明月溝を過ぎて此驛を通り線路は布爾哈通河の溪谷に入るなり、部落は驛に隣接し、人口滿鮮人合せて八百人、農耕を業とし水田多し

▽……△

楡樹川驛は山間の小邑にて滿鮮人約八十名茶條溝より此驛に至る間、布爾哈通河の溪流滾々として流れ、兩岸は奇峯怪岩峭立し、懸崖には老樹奇草互に點綴し、河は右に折れ左に轉じて鐵路と會しては離れ、離れては又交はり、兩岸の奇峰巒嶽絶壁雲を吐き風光明媚行人の目を驚かしむ、京圖線中耶馬溪の稱、蓋し過言にあらざるべし

◉苔の岩に 松なゝめなり山燕

◉谷川の瀬に 鮎の腹光る見ゆ

老頭溝驛は嘗て天圖輕便線の終端驛であつた所で、老頭溝、延吉間の輕鐵を改造したものであると云ふ、吉林方面より間島に入る咽喉部を扼し四面山に圍まれて自然の城壁をなす布爾哈通河に添ふて水運の便あり、布爾哈通河に沿ふを以て水流の便あり、事變前には支那人町として特色を有し又老頭溝炭坑の所在地として知られた地である、現在人口一萬を超え間島地方に於ける有數の都市の一なり、市街は驛の南方五百米の所に帶狀をなす

▽……△

炭坑は古き歴史を有し古老の言によれば支那人王八儀なる者三號澤抗道附近の水溝に石炭の露出せるを發見し明治二十五年、自ら發起人となりて採掘に着手したのを嚆矢とすと云ふ、同人の墓は其發見箇所附近にありと傳ふ炭坑は市街の西方一キロの地にあり一日の採炭能力百噸、埋藏量二百萬噸と稱せらる、嘗て日支合辦經營であつたが、昭和八年二月より滿鐵と張燕卿氏との共同出資の所有となり更に滿鐵に貸貸され撫順炭坑管理に當り直ちに石炭專用線を計畫し擴大しつゝありと云ふ、

銅佛寺驛 市街は驛の北方一キロの地點にあり、其名稱は現市街地の中心にある古寺の名に因んだもので市街の北方に無名の城址あり附近には北滿の耕地を控へ特產物の集散年額八萬噸と稱せらる

◉身に泌むや迦藍に響く 法の聲

朝陽川驛は朝陽川と布爾哈圖河との合流點にあり、附近は入道溝と帽兒山通峯と天寶山支脈との間に横たはる平原をなし地味肥沃灌漑の便に富み農耕に適する、此驛は敦圖線の南廻線の分岐驛にして龍井村より上三峯に出で朝鮮線に連絡す因て朝鮮に出でんとするものは捷徑路であるからこの驛にて乘替をなすを便とす

滿洲國辭令

財政部屬官 池田香珠夫
同 水江令宜
同 宮學會
同 羅振麟
任財政部技士敍委任二等(各通)
稅務監督署屬官 吉田對一
同 齋藤正治
同 關口松夫
同 山中信夫
同 小澤鑑
同 白井金彌
敍委任二等(各通) 稅務監督署屬官 坪川佐吉
同 三木廣一
同 箱輪治
同 松崎達二郎
同 余田金治
同 片山賀吉
同 佐藤辰榮
同 澤田文重郎
同 日隈原甲子郎
敍委任一等(各通) 稅務監督署屬官 玉城進
同 竹下正三九
同 合田益武
同 橋本駒夫
同 富岡博
敍委任二等(各通) 稅務監督署屬官 藪本行三
同 神宮司泰藏
同 井口憲治
同 漆間弘
同 高森貞二
敍委任一等(各通) 稅務監督署屬官 內山文吉
同 加藤政雄
同 木幡利秋
同 有宗政助
同 井門通夫
同 梅野一
同 西村武雄
同 小林二三男
同 田中陸夫
敍委任二等(各通) 稅務監督署屬官 天野保治
敍委任一等 稅務監督署屬官 西方讓
敍委任二等 稅務監督署屬官 鈴木郁郎
同 橋本貫一
同 佐藤喜左衛門
同 三谷繁雄
同 櫻井偕
同 河井功
敍委任一等(各通) 稅務監督署屬官 吉村武市
同 長友利雄
同 木田晋次
同 浦山武一
敍委任二等(各通) 稅務監督署屬官 長內賢造
敍委任三等 稅務監督署屬官 谷戶通滋
敍委任二等
稅務監督署屬官 佐藤欽一
同 森田嘉勝
同 吉田謹二
敍委任一等(各通) 稅務監督署屬官 宮坂德太郎
同 中山忠氏
同 野口良雄
同 田村宏
同 工藤鐵治
敍委任二等(各通) 稅捐局屬官 長谷川信平
同 門口喜平治
同 山元盛志
同 秋山文一
敍委任一等(各通) 稅捐局屬官 山下三勇
同 淺井源治郎
同 山田正泰
敍委任二等(各通) 稅捐局屬官 小川九五郎
敍委任一等 稅捐局屬官 渡邊忍
同 平山榮次郎
同 岡根正雄
敍委任二等(各通)